

令和4年度 調布市立第三小学校 学校経営計画（校長 秋國 光宏）

学校の教育目標	
○情操の豊かな心 ○自主的に学ぶ子 ○明るく健康な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○子どもが元気	学校は、子どもにとって安全で安心できる場所であり、心身ともに充実した学校生活を構築する
○教職員がやる気	教職は、児童の夢に向かって共に歩んでいける使命ある尊い職であることを自覚し、やりがいをもって職責を果たす
○地域に活気	学校がコミュニティの中心的役割をもって保護者、地域等と共有する学校づくりを推進する
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの数は、命の数であり、子どもは未来の宝であると捉える。その子どもたちの希望ある将来の土台づくりを推進していくため ○子どもたちの人格形成に大きな影響力を与える教職員の人材育成を推進し、子どもたちの学びに向かう力、人間性等を育成していくため ○社会に開かれた教育課程の推進を図るために、保護者や地域等の力を結集し、地域とともにある学校づくりを推進していくため
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 調布市教育委員会研究推進校として、学習者用端末を活用し、研究主題である「自ら学び、思いを実現する児童の育成」に取り組む。 学年主任を中心に、学年児童を学年及び専科教員等で指導する体制づくりを構築する。 新しい生活様式に基づく、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む。 特別支援教育の推進を図り、児童一人一人のニーズに応じた支援の充実を行う。 教育相談的な手法を取り入れた生活指導に努め、児童の自己指導能力の育成に努める。 地域学校協働本部の地域コーディネーターと連携し、地域資源や人材を生かした教育活動の推進を図る。 <p>人・組 OJT 等の研修を充実させ、教員相互に高め合うことができる指導体制の構築を推進する。また、働き方改革の推進・業務改善の推進を図り、教職員のやりがいを向上させる。</p>	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 道徳科年間指導計画等に基づき、板書の見える化を図りながら、「考え、議論する道徳」を推進し、自己を見つめ道徳性を育む指導の充実を行う。	① 校内研究の取組として、分科会で設定した各教科等の目標を達成させるための学習者用端末を活用した単元指導計画等を作成する。	① 「わくわくタイム」「マラソン旬間」「なわとび旬間」「ロング昼休み」等の取組や、体力テストの取組結果の分析等を生かして、体力の向上を図る。
② 異学年交流活動の推進を図る。委員会、クラブ、縦割り班活動を充実させ、互いを大切にする心や望ましい人間関係を築く能力や態度を育成する。	② 児童の学習意欲の向上と授業のねらいに迫るための評価に努めるため、「認め、ほめ、励ます」ことを心掛けた関わりを行う。	② 新しい生活様式に基づいた取組を推進しながら、児童の心身の状況の把握、心のケアや感染者等に対する偏見や差別が生じないよう人権意識を醸成する指導を行う
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 学校アンケート「豊かな心」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	① 学校アンケート「学力」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	① 学校アンケート「体力向上」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。
② 学校アンケート「人間関係」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	② 学校アンケート「授業が楽しい」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	② 学校アンケート「感染症対策」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 特別支援教育の推進	5 生活指導の充実	6 地域学校協働本部の推進
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① ユニバーサル・デザインを配慮した環境整備や学習指導を行う	① 教育相談的な手法を取り入れた生活指導に努め、児童の自己指導能力の育成に努める。	① 地域学校協働本部の活動や理解促進を図るために、啓発資料となる通信を発行する。
② 特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援を必要とする児童の要因や原因を分析し、指導方針を決め、組織的に対応する。	② 調布市立第三小学校いじめ防止対策方針に基づき、いじめ解消100%の継続及び、撲滅に対する児童の自主的な取組を推進する。	② 地域コーディネーターを中心とした地域資源の活用を推進し、教育活動の充実を図るとともに地域人材による支援体制を構築させる。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 学校アンケート「環境整備」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	① 学校アンケート「生活指導」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	① 学期に1回以上の通信を発行する。
② 学校アンケート「特別支援教育」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	② 学校アンケート「いじめ対策」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。	② 学校アンケート「地域連携」の項目で、肯定的な回答率90%以上を目指す。

人材育成・組織運営
○教職員の専門性が向上できるよう総務主幹を中心に、計画的にOJT及びOFF-JTの研修を推進する。
○働き方改革や業務改善を推進できるよう会議等の時間短縮や精選を図り、授業準備や教材研究等の業務時間の確保を働きかける。